

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	○	○	○

<太田川F 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質		底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)	
F-1	37.5975°	140.9252°	R3.8.26	08:37	08:57	20.8	21.7	砂	7.5Y5/2	なし	0.30	>50	

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
F-1	37.5975°	140.9252°	R3.8.26	08:37	7.3	1.4	3.1	9.5	4.8	0.03	1.4	2	1.3	0.0031	0.080	0.0031

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
F-1	37.5975°	140.9252°	R3.8.26	08:57	7.5	489	21.5	1.9	2.2	2.627	1.8	12.1	38.5	35.9	8.3	3.4	0.27	4.8	18	460	0.91

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	R3.8.26	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0045	—	—	—	210	N.D. (16)	210	—	
				R3.8.28	節足動物	昆虫	カゲ	チカゲ	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	84	0.0087	幼虫	—	—	—	128.8	8.8	120	—
					節足動物	昆虫	カワ	カワ	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ	77	0.015	幼虫	—	—	—	16	N.D. (5.8)	16	—
					節足動物	昆虫	トビ	ヒゲ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	281	0.090	幼虫	—	—	—	96	N.D. (3.7)	96	—
					節足動物	昆虫	トン	エ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	66	0.020	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	20	N.D. (5.4)	20	—
					節足動物	昆虫	トン	オ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トン	サ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トン	サ	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トン	サ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
				節足動物	昆虫	トン	ヤ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ											
				節足動物	昆虫	ヘ	ヘ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ											
				R3.8.26	節足動物	軟甲	エ	テ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	29	0.034	未成体/成体	—	—	—	67	N.D. (4.4)	67	—
					節足動物	軟甲	エ	モ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	23	0.30	未成体	—	—	—	91.5	3.5	88	—
				R3.8.28	脊椎動物	硬骨魚	ウ	ウ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	5	2.1	未成魚/成魚	ヒ	内臓除去	155.4	5.4	150	0.47	
					脊椎動物	硬骨魚	カ	カ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	1	0.035	未成魚	—	—	43	N.D. (3.5)	43	—	
				R3.8.26	脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	14	0.20	未成魚	—	—	85.6	2.6	83	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	19	0.11	未成魚	—	—	52	N.D. (2.6)	52	—	
				R3.8.28	脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	22	0.10	未成魚	—	—	40	N.D. (3.0)	40	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	0.071	未成魚	不明消化物	内臓除去	30	N.D. (3.7)	30	—	
				R3.8.26	脊椎動物	硬骨魚	ス	ハ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	6	0.015	未成魚/成魚	—	—	52	N.D. (5.2)	52	—	
脊椎動物	硬骨魚	ス	ハ		<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ														
脊椎動物	頭甲	ヤ	ヤ		<i>Lethenteron reissneri</i>	スナヤツメ	5	0.019	ア	—	—	16	N.D. (4.8)	16	—					
粗粒状有機物	—	—	—		—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	99.9	2.9	97	—					
F-3	太田川本流	37.6045°	140.9636°	R3.8.24	脊椎動物	硬骨魚	カ	カ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	1	0.0079	未成魚	—	—	84	N.D. (6.0)	84	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	6	0.029	未成魚	—	—	36	N.D. (4.7)	36	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	4.2	成魚	不明消化物	内臓除去	125.4	5.4	120	2.5	
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	R3.8.24	脊椎動物	硬骨魚	ウ	ウ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	3	0.53	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	155.0	5.0	150	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コ	コ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	5.8	成魚	不明消化物	内臓除去	46	N.D. (1.6)	46	2.5	
					脊椎動物	両生	無	ア	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	25	0.057	幼生 (オ)	—	—	323	13	310	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。